

イベント情報

立命館アジア太平洋大学
2019年12月13日 配信 APUリリース 2019-50



Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

第5回 開学20周年記念 APU教員による連続講座 in 東京 「オーバーツーリズム（過剰な観光）の対策を考える －富士山から世界まで！」

【日時】 2020年1月17日(金) 19:00～20:30
【場所】 立命館東京キャンパス（東京駅日本橋口すぐ）

APU開学20周年を記念して、立命館東京キャンパスで2019年9月～2020年1月の毎月1回実施しているAPU教員による連続講座第5回目（最終回）のご案内です。

インバウンドの増加に沸く影で、観光客が集中しすぎる観光地ではオーバーツーリズムが課題となっています。今回の講座では、観光客を減らす試みを始めた富士山を事例から、国内外の観光地に必要な対策を、日本語でわかりやすく解説します。

講座概要

日時：2020年1月17日(金)

19:00～20:30 ※18:30 開場

講師：ジョーンズ トマス エドワード（アジア太平洋学部 准教授）

会場：立命館東京キャンパス（東京駅日本橋口すぐ）

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階

テーマ：オーバーツーリズム（過剰な観光）の対策を考える

－富士山から世界まで！

言語：講義は日本語でおこないます。

参加費：無料（定員70名）

お申込：公式HPよりお申し込みください。 <http://r.apu.jp/20kz>

対象：どなたでもご参加いただけます。

概要：世界遺産をはじめ、バルセロナやヴェニスなど世界一流の観光地におけるオーバーツーリズム（過剰な観光）が課題となりつつあります。日本も観光立国化がすすむ半面、京都などの観光地はキャパを超えた側面が指摘されるようになりました。今回のレクチャーでは、混雑や環境悪化を抑えるために観光客（特に登山者）に対するデ・マーケティング対策（市場需要を減退させる仕組み）が取られつつある富士山の事例から、国内外の観光地における持続可能な観光、キャパシティー（収容能力）及び過剰利用のコア概念を検討します。



ジョーンズ トマス エドワード
准教授

報道関係者の方で出席を希望される方は、下記までお申し込みください。

【お問い合わせ・取材お申込み】 学長室（広報）担当：松本、ジョーンズ、大滝
〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1 Tel: 0977-78-1114 携帯：090-5473-3803
ウェブサイト：<http://www.apu.ac.jp> Email：r-apu@apu.ac.jp